

タイトル 誰もが過ごしやすい社会をつくるために ～性的少数者の人に寄りそって～				
テーマ・目標 性的少数者について理解を深めるとともに、性的少数者の人権問題について考えることを通して、問題解決に向けた意識や意欲を高める。				
対象者/人数			日程・時間 (目安の時間90分)	
	時間	ねらい	場面/アクティビティ/問い	場の設定
1	10分	場をつくり、本日のテーマに入りやすくする。	導入「自己紹介チェーン」 ※人権教育指導資料Ⅹワークショップの手引きP. 8参照 ○ ファシリテーターのあいさつ ○ 「好きなこと(趣味)」等の簡単な自己開示と合わせて行う。	島型 4～5人
2	30分	映像を視聴して性的少数者について理解する。	【展開1】動画視聴 性的少数者について正しく理解できる動画 (例)「あなたがあなたらしく生きるために性的マイノリティと人権」(30分) (人権チャンネル youtube 動画)	動画視聴環境 DVD等
3	10分	身の回りの性別によって区別されているものに関心を向ける。	【展開2】ブレーストーミング 「性別で分けられているもの」 ○ 身の回りや社会の中で性別によって分けられているものを個人で考えてワークシートに記入し、グループで共有する。 ○ 時間があればいくつかのグループに発表してもらって全体で共有する。	ワークシート
4	35分	性的少数者の人たちが過ごしやすい社会をつくるために何ができるかを考える。	【展開3】ウォールライティング 「性的少数者の人たちが過ごしやすい社会とは」 ○ 性的少数者が社会の中で困っている(と思う)ことについて個人で付箋に書き出す。(5分) ○ 似た意見の付箋を分類しながら模造紙に貼付け、見出しをつける。(10分) ○ 解決するためのアイデアを模造紙に書き込む。(15分) ○ いくつかのグループに発表してもらって共有する。(5分) ※共有の方法は、全てのグループの成果物(模造紙)を掲示して、自由に見て回る時間を確保する、ワールドカフェ(人権教育指導資料ⅩP. 14参照)等も考えられる。	大きめの付箋 模造紙 マーカーペン
5	5分	研修を振り返り、今後の意識、行動の変容につなげる。	まとめ チェックアウト ○ 研修を通して、従来の自身の言動を振り返り、どのように生かしていくかをワークシートに書く。 ○ ファシリテーターの話。	ワークシート
準備物 PC等(動画視聴用)・ワークシート・模造紙・付箋・マーカーペン				

「誰もが過ごしやすい社会をつくるために ～ 性的少数者の人に寄りそって～」

1 自己紹介チェーン（自分の好きなもの・大切なもの）

2 動画視聴

3 ブレーンストーミング「性別で分けられているもの」

身の回りや社会の中で性別によって分けられているもの

※できるだけたくさん、思いついたものから書く。

※他の人の意見を否定しないように、グループで共有する。

4 ウォールライティング「性的少数者の人たちが過ごしやすい社会とは」

～流れ～

(1) 「性的少数者が社会の中で困っている（と思う）こと」を個人で考えて付箋に書く。

※できるだけ具体的に。1つの付箋に1つの意見。

(2) (1)の付箋を模造紙に貼りながら発表する。同じ意見や似た意見は合わせて発表して内容や理由を確認しながら、グループの意見をまとめる。

(3) グループ全員の意見を共有し、見出しをつけて分類する。

(4) 解決するためのアイデアを話し合っ、模造紙に書き込む。

5 まとめ チェックアウト

考えたこと・学んだこと ～今までの自分を振り返って～